

総合ドイツ語A Practical German A

素養科目 2、3年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 岩井 智子、澤元 互、宗宮 朋子

授業担当者 A組：宗宮 朋子、B組：岩井 智子、C組：澤元 互

■教育目的（各クラス共通）

- 1年次の「入門」と「基礎」で学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、基礎知識の定着を図るための実践練習を積む
- 日常生活のさまざまな場面で使える語彙をふやし、基本文型を用いた会話表現ができる。
- 辞書を活用し、基本文法の知識を応用しながら、平易なドイツ語の文章を理解する力を養う。
- ドイツの童話作品、文化紹介、あるいは最近の医薬ニュース、ドイツの医療事情など、多角的な教材の学習を通して、総合的なドイツ語力をつける。
- 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を役立てられるような語学力を養う。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. ドイツ語の発音に習熟し、テキストを音読できる。
2. 基本的な語彙と構文を用いて、ドイツ語での平易な文章表現ができる。
3. 基本文法の知識を定着させ、比較的に長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。

■授業内容

A組 宗宮 朋子

この授業では、様々な種類のテキスト（医薬関係、ドイツ文化紹介、時事ニュース、簡単な文学作品等）を読みながら、1年次で学んだ文法事項を復習し、さらに高度な文法事項を学習していきます。

前期は、テキストを精読して、ドイツ語の文構造に慣れることを目指します。その際、ドイツ語圏の社会事情にも触れ、異文化理解を深めます。

準備学習（予習・復習）：予習：次に進む課の文法説明に目を通しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

成績評価方法：期末試験（中間試験も含める）（90%）、授業への取り組み（10%）で総合評価する。

教科書：プリントを配布します。

参考書：1年次に使用した教科書と独和辞典を持ってくること。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る。

B組 岩井 智子

1年次にはドイツ語の文法を3分の2ほど終えましたが、2年次にはそれを応用して講読を行います。また、視聴覚教材を用いて、ドイツの文化や生活にも触れ、簡単な会話や独作文も試みます。教科書はドイツ美術をテーマにしていますが、文法の復習を中心に、文法知識を積み重ねていきます。教科書は1課から6課まで進みます。時間があれば理系の文章もプリントで読んでいきます。

準備学習（予習・復習）：分からない単語は辞書で調べ、練習問題はあらかじめ自分でやってから授業に臨むこと。

成績評価方法：期末試験（80%あるいはそれ以上）、小テスト（20%あるいはそれ以下）で評価する。

教科書：『ドイツ美術の旅』 荻野 蔵平 他 著（朝日出版社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）、1年次で使用した文法の教科書は、手元に置いて参照できるようにしてください。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る。

C組 澤元 互

教科書に準拠しながら1年次に習った基礎的な文法を復習し、中級文法の習得を目指します。また、プリント教材を使って簡単なドイツ語を多く読み、平易な表現に慣れ、語彙力を養います。受講者のペースに合わせて進めますので、授業には常に参加し、練習や課題に取り組んでください。最初の授業のとき、学習の仕方、授業の進め方、評価の仕方などについて詳しく説明します。

準備学習（予習・復習）：予習：辞書で意味を調べて授業に臨んでください。／復習：最初は意味を感じながら音読し、だんだん速く音読できるようにしておいてください。

成績評価方法：原則として期末試験（100%）で判定します。

教科書：大谷道弘著『ドイツ人に答えてみよう』三修社

参考書：辞書（指定なし）は必ず用意してください。電子辞書可。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る。